

カリフォルニアの自然が教えてくれたこと

留学先:サンノゼ州立大学(2022年8月~2023年6月)

鹿児島大学農学部4年 荒田舞



基本情報

- ・地中海性気候・熱砂漠気候
- ・面積:42万 km²
- ・全米1位の農業州
- ・乳製品,ナッツ類,果実・野菜類の生産盛ん
- ・干ばつが深刻な問題である



学校

大学のキャンパス

芝生エリアに屹立するタワーホールが印象的で、よく友達とランチをしたり散歩をしたりしていました!キャンパスの芝生で勉強をしたりスポーツをして過ごしている人たちが多く、自然の中で時間を過ごすことが多くなります!
キャンパスのメイン通りにはヤシの木があり鹿児島大学と似ている!と嬉しくなりました。)

受講した授業

- ✓ Introduction to Environmental Issues
- ✓ Field Studies in National History
- ✓ Sustainable Agriculture
- ✓ Global Warming などなど!

Field Studies in National Historyはキャンパス外で行われる授業でした。実際に公園や環境保護区域などに行き、カリフォルニア固有の動植物を見ながら学ぶことができました。

次にSustainable Agricultureはキャンパス内で行われる授業でしたが、授業は毎回外で行っていました。授業の一環としてグループで野菜を育てていましたが、サンノゼには野生のリスが多くいるため、写真のようにリス対策を行わなければならない点が印象的でした。フィールドワークが好きな私にとっても楽しく有意義な授業でした!しかし、授業中はスライドがメインではなく教授の話がメインであったため、リスニングスキルがかなり重要で、最初のころは英語が聞き取れずに苦戦することもありました。



トマト苗のプロジェクトにもたずさわることに!

円安でお金の心配があり、キャンパス内でアルバイトを探しました。運のよくリサーチアシスタントを募集している教授がいて、プロジェクトに関わることができました!生徒と先生の距離感が日本とかなり違って、とても過ごしやすい環境でした!

農家さん

Community Garden

都市部での農業の一環として積極的に行われている活動のひとつです。サンノゼ州立大学にもありますが、他にもコミュニティガーデン団体が存在し、地域の人たちは畑でのボランティア活動や環境教育イベントを楽しんでいます。私もボランティア活動に参加していました。また、ガーデンで開催されるイベント(食べ物に関する多種多様なイベントが行われます!)では新しい人との出会いや無料のごはんなども楽しみました!



Farmers Market

カリフォルニア州ではファーマーズマーケットが盛んに行われています。特にロサンゼルスやサンノゼといった都市部では多くの場所で行われています。地元農家と地域とのつながりを促進することが目的で、農家さんに話を聞きながら野菜や果物、パン、加工品、工芸品と幅広くお買い物を楽しめます。日本のスーパーでは中々見かけない規格外の野菜でも販売されていて、カリフォルニアの食育にも注目しています。



Pumpkin Patch

農家さんが催すハロウィンイベントです!人工物の少なく自然に囲まれたイベントでした。大きなカボチャがゴロゴロしていて、見るだけで楽しかったです。特にトウモロコシ迷路は規模が大きく、ゴールまで予想以上に時間がかかってしまいました(笑)



普段は訪れない農家さんの畑を訪れ、季節のイベント楽しむという日本ではまだ行われていないパンキンパッチはアメリカに行っている際にはぜひ体験してもらいたいです

☺

地域

動物

カリフォルニアは土地が広々としていて、車で高速道路を走っていると、横にある山の麓に牛や馬、羊が放し飼いられていることが多くあります。家畜はのびのびと放し飼いられている場所が多く、アニマルウェルフェアに関して、日本よりも進んでいると感じました。



National Park

雄大な自然の中ハイキングなどが楽しめます!有名な国立公園も多く、それぞれ岩が有名であったり、湖が有名であったり違いがあって面白かったです。ハイキング中にはたくさんの植物や生き物が見られます。わたしのお気に入り、写真にいたバナナナメクジです。ランチュラも見かけて驚きました!

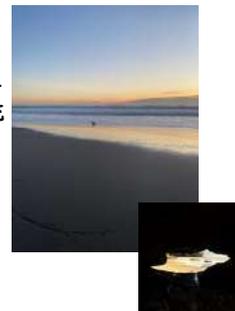


ワイナリー

お酒好きの方はブドウ農家さんが行っているワインテイスティングがおすすめです!一面に広がるブドウ畑は圧巻です。アメリカの農業ならではの大規模農業が感じられました。

Beach

観光スポットで有名なビーチも多く、お店やレストランが充実しています。ビーチ沿いを走っている人やサーフィンをしている人がいて、行くだけでワクワクできました。夕焼けもきれいで、ビーチごとに違った特色がありました。



まとめ

ほとんど快晴な日ばかりで、年中乾燥しているため、日本のような夏のじめじめ感がなく、わたしにとっては快適な気候でした!植生が日本と異なり、初めてみる植物が多かったです。夏に近づくにつれて山にある植物が枯れ茶色になっていくため、夏季と冬季で見える景色が完全に違っていました。休日にはハイキングやビーチに行くなどする人も多く、自然が身近にあると感じました。また外で過ごす人が多い理由は晴れの日が多く、気温も比較的過ごしやすい日々だからではないかと思っていて、人々の暮らしと風土には密接な関係があることを肌で学んだ気がしました。また印象的だったこととしては、農家さんの経営のあり方です。日本でも農業の六次産業化(生産だけでなく加工も行う農業のこと)が進んでいます。生産者と消費者が直接かかわる機会は少ないと感じています。一方、カリフォルニアでは農家さんが開催するイベントやファーマーズマーケットの直売を通して、農家さんと消費者が互いに利益をもたらすという農業が行われていると感じました。例えば、パンキンパッチに週末に参加したときは駐車場に行くまでに1時間以上かかり、こんなに並んだのは東京ディズニーランド以来だなどと感じていました。いつか日本でも、ディズニーランド並みに行列のできる農業イベントが増えたときに、日本の農業はもっと輝くのではないかと考えています。